

常陸太田市・仙北市ふれあい交流事業

12月25日から27日の2泊3日で、茨城県常陸太田市の小学生40人が仙北市に訪れました。26日は、仙北市の小学生17人と、イタヤ細工の体験や、たざわ湖スキー場で雪遊びをして交流しました。27日は、常陸太田市と仙北市の歴史的な関係について話を聞いたあと、武家屋敷の散策をしました。



イタヤ細工の体験



みんな夢中でソリ遊び

全員での記念撮影

新春「秋田内陸線談議」 ～宝物発見のヒントを探ろう～

1月12日、秋田内陸線の存続に向けて一層意識を高め、みんなで知恵を出し合おうと、秋田内陸線談議（主催・秋田内陸縦貫鉄道を元気にする会）が、西木温泉クリオンを会場に市内外から約200人が参加して開催されました。

最初に講演が行われ、本県出身でマスコミ等でおなじみの橋本五郎氏が「ある程度の行政負担は必要。地元の利用促進と外から人を呼び込む方策をみんなで考え行動することが重要」と呼びかけました。



続けて行われた談議では、「鉄道に愛称をつけたらどうか」、「列車が来たら手を振るキャンペーンをしよう」などというアイデアが出されたほか、秋田内陸線は観光産業の活性化と密接であり内陸線、行政、関係団体、住民が丸となって行動しようとの発言が相次いで出されました。

また、当日、秋田内陸縦貫鉄道を守る会（鈴木定平会長）から、存続にかける地域住民の願いを込めた千羽鶴が同鉄道の竹村専務と石黒仙北市長にそれぞれ贈呈されたほか、2月10日に上桧木内地区で行われる紙風船上げの車内展示用ミニ風船20個も贈呈されました。

市に贈られた千羽鶴は、内陸線角館駅に展示していますので、内陸線の利用の際にご覧ください。



110番の日 田沢湖駅で街頭キャンペーン

1月10日の110番の日に合わせ、仙北警察署田沢湖交番所員とたざわ湖巡回隊のみなさんが、JR田沢湖駅と駅前商店街で街頭キャンペーンを実施しました。



当日は「なにがありましたか」「どこでありましたか（目標物はありませんか）」「いつごろですか」「犯人は（逃げた方向は、服装は、人相は）」「いま、どうなっていますか」「あなたの住所・名前・電話番号を教えてください」といった110番通報の6つのポイントなどが書かれたチラシを配り、駅利用者や通行人に正しい110番通報の利用法を呼びかけました。



仙北市教育委員の異動

平成19年11月24日の任期満了に伴い、退任された武藤幸生前教育委員の後任として、三浦陽一氏の選任案が、12月21日、議会定例会本会議において採決が行われ同意されました。

これを受けて、12月26日教育委員会が招集され、委員構成が次のとおり決まりました。（敬称略）

●委員	長	佐久間 健 一
●委員	員	安 藤 満 里
●教育	長	小 林 一 雄

●委員長職務代理者	千 葉 勇
●委員	三 浦 陽 一